令和7年度 明和高校サッカー部紹介

1 令和7年度の活動状況(2025.4.15時点)

部員数:1年5人、2年11人、3年16人、マネージャー5人(1年2人、2年3人) 活動日:(平日)月曜オフ、火曜〜金曜の授業後 (休日)大会の日程に応じて適宜オフ

活動場所:火曜、木曜、金曜、土日祝日は主に城北グラウンド 水曜日は主に明和高校グラウンド又は名城公園

2 明和高校サッカー部の活動の目的 「サッカーで学ぶ」を軸として、サッカーを通じて様々な活動を行い、「人間力の向上」を目指す。

- 3 明和高校サッカー部の活動方針
 - ①勝負にこだわり、勝つためのプロセスを論理的に考える。
 - *思考と実行を繰り返す。
 - ②組織の在り方を模索し、自主的な組織運営を行う。
 - *チーム全員が得意分野でリーダーシップを発揮する。
 - ③様々な体験活動を通じ、豊かな心を育成する。
 - *多様な考え方や価値観に触れることで、ものの見方の幅を広げる。
- 4 各学年の位置づけ
 - 1年生…チーム理念、チームの在り方を理解し、サッカーの基礎知識を身につける。
 - 2年生…チームの中心として組織運営を行い、サッカーの理解を深める。
 - 3年生…サッカーと勉強の両立に励み、高校サッカーを全うする。
- 5 今年度の活動(1、2年主体のチーム)について
 - ○チームスローガン

「プライドと責任」

- *プライド…「明和髙校サッカー部の一員」であることを自覚し、誇りを持って行動する。(責任を持って)
- *責任…「明和高校サッカー部の一員」として周りの人から見られていることを理解し、ピッチの内外問わずきちんとした生活を送る。(プライドを持って)
- ○活動するにあたって
- (1) マインドセット<人としてカッコよくあれ。>
 - ① 主体的に行動する
 - ・チームへ貢献する行動をとる。
 - ・全員がリーダーシップを発揮する。
 - ・コミュニケーションを大切にする。
 - ② 周囲への感謝
 - ・今の環境があることは当たり前ではないことを理解する。
 - ・応援されるチームになる。
 - ・仲間の存在を大切にし、仲間への感謝を忘れない。
 - ③ ベクトルをそろえる
 - ・全員が同じ目標に向かうため、自分の考えをチームへ共有する

(2) 特に大切にする行動

- ① 練習中、サッカーに関する会話を増やし、不要な会話をしない ⇒ 練習に集中する環境を自分たちで創る
- ② 挨拶をする ⇒ 人と人との繋がりを大切にする
- ③ 道具を大切に扱う ⇒ 荷物を整頓することで、心も整理した状態を作る
- ④ コンパクトかつきれいな円陣をつくる ⇒ ベクトルのズレの修正、考えを共有する大切な時間という認識を持つ

○チームの目標 *目標を達成するために「得点力のあるチーム」を目指す

- ・リーグ戦…県4部リーグ昇格
- ・カップ戦…県大会2回戦突破

○サッカー部組織図

明和サッカー						
トレーニング班		フィジカル班		戦術・分析班		マネージャー

*各班が明和サッカーの土台となる

○審判活動について

<基本的な考え方>

チーム全員が審判に対しての理解を深め、2年は主審、1年は副審を中心に行う。

<活動の目標>

1年生…全員が公式戦で副審を行うことができる。

2年生…全員が練習試合で主審を行うことができ、リーグ戦で主審を行うレベルを目指す。

○未来のサッカー部員へ(2年キャプテンより)

皆さんこんにちは。明和高校サッカー部です。私たちは現在、1年生5人、2年生11人、マネージャー5人の合計21人で活動しています。明和高校サッカー部では「サッカーで学ぶ」を理念とし、サッカーを通じた様々な活動を行っています。その一環として、選手が中心となってチームの運営を行い、今年も昨年に引き続き「班活動」を取り入れてチームを動かしています。トレーニング班、フィジカル班や戦術・分析班、それぞれが「勝つために何が必要か?」を考えながら、積極的に活動しています。また、日頃から仲間や周囲の人たちへの感謝の気持ちを忘れないことを大切にしています。また、試合や練習だけでなく、3泊4日の夏期合宿やJリーグ・名古屋グランパス戦のボールパーソン体験、フットサルイベントへの参加なども行っています。サッカーをプレーするだけでなく、いろいろな角度からサッカーに関わることで、サッカーをより楽しむことができる環境が整っています。明和高校サッカー部は、サッカーを楽しむだけでなく、人としても大きく成長できる魅力的なチームです。ですが、今年は1年生が5人と少なく、今後の活動に少し不安もあります。そこで、サッカーが好きな人、パッション(Passion)を持っている人を大募集しています。 私たちと一緒にサッカーを楽しみ、成長していきましょう!皆様とともにサッカーができることを心待ちにしています。